

平成29年度新潟県立十日町高等学校 シラバス

教科名	科目名	学科・学年・類型	単位数
芸術	美術 I	普通科・1年生	2
教科書	[主たる教材] 高校生の美術 1		
副教材等	[副教材] なし		

1 科目の目標

美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、美術を愛好する心情を育てるとともに感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

2 科目の内容

【表現】
(1) 絵画、彫刻 (2) デザイン (3) 映像メディア表現

【鑑賞】
(1) 美術作品などの良さや美しさ (2) 表現の特質や美しさ (3) 自然と美術のかかわり (4) 日本及び外国の美術文化

3 授業計画

月	内 容	配当 時間	指導上の留意点
4月	オリエンテーション 絵画 (模写) 鉛筆で模写をする		<ul style="list-style-type: none"> ・ 題材の意図を理解し、制作に意欲的に取り組んでいるかどうか。 ・ 発想と技法の関連を知ることが出来たか。 ・ 作業の手順を理解出来ているか。 ・ 用具の使い方は適切か。 ・ 発表は客観的か、感じたこと、考えたことの文章化ができていないかを個別に指導する。 ・ 生徒一人一人の到達状況に合わせて、適切な課題を設ける。
5月	○ 1 学期中間考査	12	
5月	立体 (寄せ木細工)		
7月	○ 1 学期期末考査	10	
7月	南陵祭 展示準備		
10月	立体 (石粉粘土による造形) ○ 2 学期中間考査	18	
10月			
12月	パラパラ漫画制作	18	
12月	鑑賞 ○ 3 学期中間考査		
3月	絵画 ○ 学年末考査	12	

計 70 時間 (55分授業)

4 学習評価

	美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
評価の観点・規準	美術の創造活動の喜びを味わい、美術や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身につけ、表現方法を工夫して表している。	美術や美術文化を幅広く理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 作品提出、完成状況 学習活動への参加状況 	<ul style="list-style-type: none"> 資料の活用状況 作品内容 授業観察 	<ul style="list-style-type: none"> 資料の応用状況 製作状況 作品内容 作業手順や用具の使い方 	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞時（関心、集中度など）の状況 レポート内容

5 担当教員

美術科教諭

6 担当者からのメッセージ

授業を通して想像力や創造力を養い、美術に親しみ、ゆとりある豊かな生活へと活かしてほしい。